

「第5回オープン！子ども・家庭大臣室」 ～子どもたちが上川大臣室を訪問～

■開催状況

- ・日時 平成19年12月12日(水) 17:20～18:00
- ・場所 上川陽子内閣府特命担当大臣室
- ・出席者 小学生の子どもたち(伝統文化こども教室(書道教室)参加者21名)とその保護者の方々
上川陽子 内閣府特命担当大臣(青少年育成)

■概況

小学生21人とその保護者の方々を大臣室にお招きし、上川大臣が直接子どもたちと意見交換を行いました。

(大臣より)

- ・ ようこそ大臣室へ。今日は皆さんが来てくれることを大変楽しみにしていました。
- ・ 今、全国の子どもたちが「早寝・早起き・朝ごはん運動」という「食育」のための運動をしています。早く寝て、元気に早く起きて、朝ごはんをしっかり食べて学校に行くことは、とても大切なことです。
- ・ 皆さんは書道を習っていますが、先日、私も「希」という字を書きました。私は皆さんのことを「希望」と思っています。希望を持っているということはとても楽しいことです。私は希望の星である皆さんのために、元気で勉強したり、スポーツしたり、遊んだりできるよう働いています。
- ・ 皆さんは、いろんな栄養をたくさん吸収して大きくなってください。



小学生の皆さんに熱心に話しかける大臣

(子どもたちから)

参加した子どもたちから、大臣への質問を受けました。

- 大臣はどのような仕事をしていますか。
→今日は福田総理にお会いして、今取り組んでいる仕事のことを報告してきました。お父さんが早く仕事から帰ってきて、みんなと一緒に食事をしたり遊んだりするためにはどうしたらよいのかということについて報告してきました。
- 小さい頃はどんなことをしていましたか。
→皆さんは書道を習っているが、私は日本舞踊を習っていた。学校でも皆さんと同じように楽しく遊んだり勉強したりしていた。

このほか、「どうしたら大臣になれるのか」「毎日どのような食事をしているのか」「朝は何時に起きているのか」など、子どもらしい質問が相継ぎました。



小学生の皆さんと一緒に記念撮影

■大臣からのメッセージ

～子どもたちとの意見交換を終えて～

「オープン！子ども・家庭大臣室」も今回で5回目になりますが、初めて大臣室において、伝統文化子ども教室に通う子どもたちをお招きしました。学校が終わった後の遅い時間にもかかわらず、子どもたちはみんな元気で、最後まで目がキラキラ輝いていたことが大変印象的でした。

子どもは希望の象徴であり、社会の宝です。子どもの成長には、発達段階に応じた知識の習得や経験の蓄積が大切です。子どものときに様々な体験をすると、自然と心と身体の「栄養」になり、大きくなったときに必ずその人にとって大切な財産となります。

今日お会いした子どもたちの元気な姿と目の輝きに触れ、これからも将来を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、子どもの視点に立って、全力で取り組んでいきたいと改めて感じました。

最後に、このような機会を設けてくださった書道教室の石橋先生を始め、遅い時間にもかかわらず参加いただいた子どもたちとその保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

(以上)